令和3年度
事業計画書

社会福祉法人 松浦市社会福祉協議会

1 基本方針

未だ終息の様相を見ることができない新型コロナウイルス感染拡大は、地域住民の生活に大きな影響をもたらしています。地域の経済活動は甚大な打撃を受け、国による巨額な財政出動の下、様々な救済措置が施されてきました。本市においても多くの業種において、営業収入の激減やそれに伴う労働収入の減少、失業など経済生活は困窮を極めています。

そのような状況下、長崎県社会福祉協議会から受託をしている生活福祉資金貸付事業は、緊急小口資金、総合支援資金特例貸付窓口として、相談や貸付手続きを全支所で対応しています。

松浦市福祉事務所の生活困窮者自立支援事業と連携し、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた市民をはじめ、生活が困窮されている方に対して、生活再建への一助を担っており、個々のケースについて、相談者の立場に立った対応を致して参ります。

地域福祉に関する課題は、複雑多岐にわたることは言うまでもなく、課題の深刻化はますます加速しており、要支援者に対して、包括的な取り組みが必要不可欠であります。当社会福祉協議会は、行政機関をはじめ、各福祉団体、地域団体等、異業種団体と幅広くつながりを持ち、地域福祉の推進に寄与して参りましたので、この「つながり」を生かし、課題を敏感にとらえ、柔軟な考えを持って支援対応を行って参ります。今後、公益性、公共性の高い事業・活動を推進していくために、経営の面において、組織としての意思決定、合意形成の強化や事業運営の透明性が不可欠であります。

介護保険事業を始めとする各種事業については、事業収入の減少、人材確保の難しさ等、運営・経営は極めて厳しい状況にあります。

本年度は3年毎の介護報酬改定の年となりますが、報酬額は微増するとの事ではありますが、収入減少を補填するまでには至らない厳しい状況は続くと思われませんが、これまで同様、法令を遵守し、適正な運営・経営を目指し取り組んで参ります。

近年多発する自然災害への対応は、今後ますます増大することが予想されます。

万一、当市において災害が発生し、被災者が出た場合に備え、行政や協力団体との情報交換、共有を行い、包括的な取り組みが実践できるよう努めて参ります。

高齢者や障がい者の権利擁護を支援する「福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）」については、相談支援体制の更なる整備を検討する必要があり、成年後見制度への移行支援等、法人としての対応を検討して参ります。

地域の福祉活動の推進を図る「第2期松浦市地域福祉活動計画」は、今年度、最終年度でありますので、向こう5年間の「第3期松浦市地域福祉活動計画」の策定を今年度中に行います。

以上の事業を推進していくためには、松浦市を始め、民生委員・児童委員、自治会、福祉施設、医療機関、公的関係機関との連携を更に密にし、総合的に対応できる体制を構築する必要があることから、職員個々の資質向上に努めて参ります。

2 地域福祉活動

福祉相談等において、多様化する課題の解決に向け、民生委員・児童委員を始め、各関係機関と連携を密にし、相談支援体制の強化を図り鋭意取り組むと共に、近年、自然災害が多発する状況に鑑み、市民の安心、安全のために、災害ボランティアセンターの設置・運営を含む災害発生時支援の在り方について、具体的な取り組み方針を行政機関、協力団体と共に構築いたします。

3 事業の経営・運営

(1) 介護保険、介護予防・日常生活支援総合事業

本所・鷹島支所において、県指定の介護保険事業「通所介護事業」「訪問介護事業」を実施しております。又、市指定の「居宅介護支援事業」「介護予防・日常生活支援総合事業」の両事業も併せて行います。

法令を遵守したサービスの実施、利用者の方に必要とされるサービスの提供に努めますが、一方では、職員の確保は困難を極めております。

しかしながら、鋭意努力し、安定した事業経営を目指すと共に、事業所の資質向上に努め、利用者の確保に努めて参ります。

(2) 高齢者在宅福祉サービス

福島支所において実施しております独自事業の「配食サービス」につきましては、在宅福祉の推進には無くてはならない事業と位置付け、生活支援、見守りの観点から、尚一層の推進に努めて参ります。又、鷹島、福島支所において会食型の「高齢者食事サービス」を実施しており、高齢者が集える場を提供することで、閉じこもりの防止、孤独、孤立に陥ることがないように社会参加、見守りに対応した事業ととらえ、コロナ過ではありますが、開催方法を見直し継続して参ります。福島支所の実施については、同町内のボランティアグループの協力を得ており、今後も独自財源を確保し推進して参ります。

独自事業として福島町内で実施しております「いきいきサロン」は、開催地区を増やすことを目標に更なる推進を目指して参ります。

(3) 高齢者支援事業

市委託事業の通称「いきいきサロン」は、地域での介護予防事業として今後もより多くの参加を呼びかけ、事業の推進を図ります。

「地域包括ケア」の観点から、地域で開催することの意義、重要性は大きく、参加者のコミュニティーの構築を図ると共に、地域力の維持、向上を目指し、継続して取り組む必要があります。

松浦市地域包括支援センターをはじめ、各関係機関と連携を図りながら、参加者の生活、身体的情報を定期的に把握し、適切な支援につなげることや、市が行う介護予防事業等に参画及び協力をしながら内容の濃い事業となるよう努めて参ります。

(4) 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）

県社会福祉協議会の委託を受け、本所、福島支所、鷹島支所において、相談、日常生活の支援活動を行っています。権利擁護の推進に向け、事業担当者のスキルアップを図り、適切な相談支援が行えるよう努めて参ります。

(5) 指定管理事業

市より指定管理を受け「松浦市老人福祉センター」「松浦市高齢者生活福祉センター」「松浦市福島総合運動公園」の管理・経営を行っております。

鷹島町の松浦市高齢者生活福祉センターにおいては、原子力災害時の一時避難場所として、職員が長崎県原子力防災訓練に参加し、非常時の実動訓練を行って参ります。また、「生活支援ハウス」の機能を備えておりますので、入居者の適切な支援に努めて参ります。

志佐町の松浦市老人福祉センターにおいては、昨年5月に松浦市市民福祉総合プラザ4階に移転し、利用者ニーズに対応したプログラムの編成を行い、従来同様に適切な管理運営に取り組んで参ります。

マイクロバス運行につきましても安全運行はもとより、利用者の利便性を向上させるための対応を行って参ります。

福島町の松浦市福島総合運動公園においては、地域住民のスポーツの場、憩いの場、交流の場として多くの方に利用していただき、継続して利用していただける様に、利便性の高い施設環境を提供することに努めて参ります。

(6) 障害福祉サービス事業

障害者自立総合支援法による居宅介護（ホームヘルプサービス）は本所、鷹島支所において実施しております。

このサービスの支援計画は、当法人以外の相談支援事業所が担当することとなっておりますので、市担当課等とも連携を密にし、利用者の方への適切な居宅介護、重度訪問介護、同行援護を行い、自立支援の一助として寄与して参ります。

(7) その他の事務・事業推進

- 生活困窮者自立支援事業への協力及び連携
- 福祉相談事業の推進強化
- 県、市福祉資金貸付事業の相談及び事務取扱
- 福祉協力校の指定事業（市内小学校9 中学校7 高校1 計17校）
- 福祉教育支援事業の推進
- 備品貸出事業の推進
- 自治会公園・広場整備事業
- ボランティア活動助成事業
- ボランティア活動保険加入助成事業
- 各福祉団体への活動支援と連携
- 地区社会福祉協議会への活動支援と連携強化

- 広報活動の促進（ホームページ・社協だより発行）
- 情報開示への適切な事務
- 社協会員の**加入促進**
- 日本赤十字社会費募集及び事務取扱
- 赤い羽根共同募金、歳末たすけあい運動及び事務取扱
- 市民児協の事務取扱及び民生委員・児童委員との連携強化
- 第3期松浦市地域福祉活動計画の策定

※ 関係団体事務受託

- ・ 日本赤十字社長崎県支部松浦市地区
- ・ 長崎県共同募金会松浦市支会
- ・ 松浦市民生委員児童委員協議会